

#### 4. 操作方法

操作方法を習熟するまでは、空で運転してじゅうぶん慣れることが必要である。

以下代表的な引張試験を例にしてのべる。

- (1) メインスイッチを入れる。⑨
- (2) 油ポンプのスイッチを入れる。⑧
- (3) 容量切換ツマミをまわして、試験荷重に適合したスケールレンジ（秤量）に設定する。②
- (4) 試験片を上部クロスヘッドのチャックにはさみ、ハンドルで固く締付ける。
- (5) 負荷速度制御ツマミを右にまわして、テーブルをわずかに上昇させて、指針が0を示すように0調整ツマミをまわす。⑪

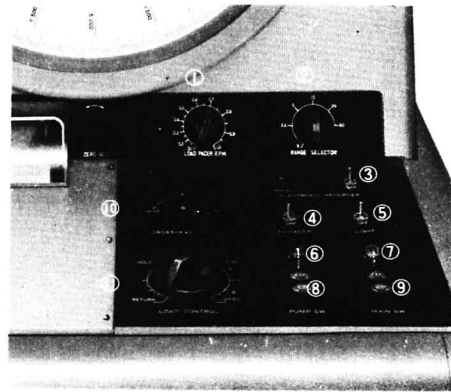
⑪：指針が最初0点より左に約1目盛が

振れているかどうかを確認しておく。(調整棒、指針滑車の調整)

- (6) 下部クロスヘッド昇降スイッチにより、下部クロスヘッドは試験片をつかむに適切な位置に移動させる。⑩
- (7) ハンドルをまわして試験片を下部クロスヘッドに固く締め付ける。
- (8) 破断時にハンドルが飛んで破損したり、操作者を傷つけたりする恐れがあるから、試験片を締めつけた後、ハンドルを抜き取る。
- (9) 置針を0点に戻して指針と重ねる。
- (10) 負荷速度制御ツマミを右にまわして、試験片に荷重を加える。⑪
- (11) 指針は試験片の性質によって、降伏点を通り、最大荷重点を越し破断点に達する。試験片が切断したとき負荷速度制御ツマミを左にまわし、上部クロスヘッドを元の位置に戻す。

⑪ 補 1. ストレス、ストレーン曲線を自動記録するときは、試験のはじめに記録ドラム軸上のプーリに記録糸を巻きつけ、記録ドラムに記録紙をはさむ。そして、(6)項のつぎに記録ペンの先端を記録紙にタッチさせればよい。

⑪ 補 2. 連続して試験するときは、(3)～(10)を繰り返せばよい。



- |               |               |
|---------------|---------------|
| ① ロードベアツマミ    | ⑦ メインパイロットランプ |
| ② レンジ切換ツマミ    | ⑧ ポンプスイッチ     |
| ③ 電気式記録計スイッチ  | ⑨ メインスイッチ     |
| ④ ロードベアスイッチ   | ⑩ クロスヘッド昇降ツマミ |
| ⑤ 照明灯スイッチ     | ⑪ 負荷制御ツマミ     |
| ⑥ ポンプパイロットランプ |               |

図1-9 パネル盤説明図